

「北海道開発局 端末管理システム外一式の借入及び保守 仕様書案」に対する意見招請の結果について

令和4年3月10日  
北海道開発局開発監理部

標準業務仕様書案について意見招請したところ、以下の内容の意見書の提出がありました。提出された意見とそれに伴う対応について、次のとおり回答します。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
1	21P	10.移行要件 10.1.移行に関わる要件	記載なし	端末管理システムの仮想サーバで現在稼働中の「運用管理システム環境」についても本調達内で移行することになりますか。	—	行いません。
2	P1	3.1.業務目的	「本省第3 期基盤システムとの連携を行います」	「本省第3 期基盤システムとの連携」に必要な対応内容の記載が無い場合、対応に必要な作業工数の積算ができません。対応内容の記載をお願いします。	—	「第3期国土交通省行政情報基盤システムに係るサービス提供」の調達情報が令和4年3月31日まで公開されていますので、内容確認をお願いします。
3	P4	3.5.2.スケジュール要件	(6) 令和5 年2 月1 日から運用開始予定の本省第3 期基盤システムと本調達が関連する部分については、本省スケジュールに追従するよう調整を行うこと。	「本省第3 期基盤システムと本調達が関連する部分」とは、 4.1.1. 端末管理システム 4.1.2. 資産管理システム 4.1.3. アンチウイルス管理システム 10.1. 移行に関わる要件 10.1.1. 端末管理システム 10.1.2. 資産管理システム 10.1.3. アンチウイルス管理システム それぞれに記載されている部分という認識でよろしいでしょうか。 また、「本省スケジュールに追従するよう調整を行う」ために必要となる、本省スケジュールを本仕様書内に明記してください。 現段階でスケジュール明記が難しい場合は、提示時期の記載をお願いします。	行う	よいです。 本省スケジュールについて提示時期を記載します。 「(6) 令和5 年2 月1 日から運用開始予定の本省第3 期基盤システムと本調達が関連する部分については、9月までに本省スケジュールを提示する。本省スケジュールに追従するよう調整を行うこと。」
4	P5	4.1.1.端末管理システム (1)基本機能	②既存アクティブディレクトリ環境を新規仮想化システムに移行し、障害時の切り戻しが可能な環境を保持すること。	アクティブディレクトリ環境はシステムの性質上、新サーバ上の新環境(Windows Server 2019 ActiveDirectory)に移行完了後は、サーバ側を切り戻しても、クライアント連携を含む動作が正常にできないため、事実上サーバの切り戻しは不可能となります。 そのため、以下の記述に変更願います。 ②アクティブディレクトリ環境の移行期間において障害が発生した場合は、新旧いずれかの環境で継続運用可能な移行方式とすること。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
5	P5	4.1.1.端末管理システム (1)基本機能	④ドメイン管理対象クライアントは 5,600 程度とすること。また必要な WindowsServer 2019 ユーザCAL は本省第3 期基盤システムからライセンス提供を受けること。	「本省第3 期基盤システムからライセンス提供を受けること。」は、貴局を介さず、受注者が直接本省からライセンス提供を受けるように読み取れます。 ライセンス提供は、本省から貴局へ、貴局から受注者へと流れになると思われますがいかがでしょうか。 その場合は、「また必要な Windows Server 2019 ユーザCAL は当局より提供する。」 もしくは「また必要な Windows Server 2019 ユーザCAL は本省第3 期基盤システムのライセンスを当局より提供する。」になるものと思います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
6	P5	4.1.1.端末管理システム (1)基本機能	⑧ 本省第3 期基盤システムで提供される認証基盤機能と連携を行い、内容を共有すること。	「本省第3 期基盤システムで提供される認証基盤機能と連携」に必要な対応内容の記載が無い場合、対応に必要な作業工数の積算ができません。対応内容の記載をお願いします。	—	「第3期国土交通省行政情報基盤システムに係るサービス提供」の調達情報が令和4年3月31日まで公開されていますので、内容確認をお願いします。
7	P5	4.1.1.端末管理システム (1)基本機能	⑨グローバルアドレス端末の利用を可能とすること。	「グローバルアドレス端末」で利用したい機能等の記載がありません。 作業積算に必要な為、「グローバルアドレス端末」の利用目的等の記載をお願いします。 例：本局職員が外部からID管理システムを利用	—	職員端末が、外部(当局庁舎外)からグローバルアドレスで本システムを利用することを可能として下さい。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
8	P6	4.1.2.資産管理システム (1)基本機能	① 本省第3期基盤システムからライセンス提供を受け、資産管理システムを構築すること。保有するライセンスは「SKYSEA Client View Light Edition」である。	「本省第3期基盤システムからライセンス提供を受け、」は、貴局を介さず、受注者が直接本省からライセンス提供を受けるというように読み取れます。ライセンス提供は、本省から貴局へ、貴局から受注者へという流れになると思われますがいかかでしょうか。 その場合は、「ライセンスは当局より提供するものを利用し、」もしくは「本省第3期基盤システムのライセンスを当局より提供するものを利用し、」になるものと思います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
9	P6	4.1.2.資産管理システム (1)基本機能	② SKYSEA Client View のオプション機能として「リモート操作(インターネット経由)」「申請・承認ワークフローシステム」「不許可端末遮断」を必要とする。クライアント数は5,600とし、必要なライセンスは本調達に含むこと。	5.1.2に記載のライセンス数7000と数量が違うため、統一をお願いします。	行う	仕様書の修正を行います。
10	P6	4.1.2.資産管理システム (1)基本機能	② SKYSEA Client View のオプション機能として「リモート操作(インターネット経由)」「申請・承認ワークフローシステム」「不許可端末遮断」を必要とする。クライアント数は5,600とし、必要なライセンスは本調達に含むこと。	SKYSEAの本体ライセンスは、提供されるため、本業務での購入は不要で、オプションライセンス購入のみ本調達の範囲との認識でよろしいでしょうか。その場合、本体ライセンス数以上のオプションライセンスの購入ができません。オプションライセンス5%増とする場合は、提供されるライセンスも同数必要となります。	行う	仕様書の修正を行います。
11	P6	4.1.2.資産管理システム (1)基本機能	② SKYSEA Client View のオプション機能として「リモート操作(インターネット経由)」「申請・承認ワークフローシステム」「不許可端末遮断」を必要とする。クライアント数は5,600とし、必要なライセンスは本調達に含むこと。	既存環境にないオプション機能の設計・設定・構築作業は本業務の範囲でしょうか。既存環境にある場合は、設定の移行等による環境構築が可能ですが、無いものについては、利用目的や設定要件等の記載をお願いします。	行わない	本体ライセンスは当局から提供しますが、既存環境で利用しているオプション機能の本契約で調達します。そのオプションにかかる設計・設定・構築作業は本業務の範囲です。
12	P6	4.1.2.資産管理システム (1)基本機能	⑥ グローバルアドレス端末の利用を可能とすること。	「グローバルアドレス端末」で利用したい機能等の記載がありません。 作業積算に必要となる為、「グローバルアドレス端末」の利用目的等の記載をお願いします。 例：本局職員が資産管理システム管理機を利用	-	職員端末が、外部(当局庁舎外)からグローバルアドレスで本システムを利用することを可能として下さい。
13	P6	4.1.2.資産管理システム (2)導入・運用	① 日本語対応マニュアルなどのドキュメントや製品画面及びヘルプなどは日本語対応とすること。	SKYSEA Client Viewは貴局からの提供品であり、本業務で調達しないソフトウェアのため、削除願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
14	P6	4.1.2.資産管理システム (2)導入・運用	③ 配布の負荷分散 本局及び各開発建設部に中継端末を設置し、コンテンツ配布における管理サーバおよびネットワークの負荷を分散可能とすること。中継端末の物理ネットワークポートは2ポート以上実装し、行政系・防災系それぞれに接続を行うこと。	左記の構成はメーカーサポート外の構成となります。構成変更を含めた再検討をお願いします。 行政系・防災系を考慮した構成とする場合は、各開発建設部2台ずつ(行政系・防災系それぞれ)の中継端末を用意する必要があります。 また、前提として、防災系の端末にもクライアントが導入されていること及び防災系端末からネットワーク的にSKYSEAサーバ群に接続できる必要があります。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「本局及び各開発建設部に中継端末を設置し、コンテンツ配布における管理サーバおよびネットワークの負荷を分散可能とすること。中継端末の物理ネットワークポートは1ポート以上実装し、行政系に接続を行うこと。」

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
15	P7	4.1.3.アンチウイルス管理システム (1)基本機能	① 本省第3 期基盤システムからライセンス提供を受け、アンチウイルス管理システムを構築すること。保有するライセンスは「TrendMicro 社ウイルスバスターコーポレートエディションPlus」である。	「本省第3 期基盤システムからライセンス提供を受け、」は、貴局を介さず、受注者が直接本省からライセンス提供を受けるというように読み取れます。ライセンス提供は、本省から貴局へ、貴局から受注者へという流れになると思われますがいかがでしょうか。 その場合は、「ライセンスは当局より提供するものを利用し、」もしくは「本省第3 期基盤システムのライセンスを当局より提供するものを利用し、」になるものと思います。	行う	仕様書の修正を行います。 「①ライセンスは当局より提供するものを利用し、アンチウイルス管理システムを構築すること。保有するライセンスは「TrendMicro 社ウイルスバスターコーポレートエディションPlus」である。」
16	P7	4.1.3.アンチウイルス管理システム (1)基本機能	⑦ApexOne サーバのパラメータは既存コーポレートサーバの設定に基づくものとし、必要に応じて見直しを行うこと。	「既存コーポレートサーバ」ではなく「既存ApexOneサーバ」ではないでしょうか。 既存環境確認の上、適宜修正願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
17	P7	4.1.3.アンチウイルス管理システム (1)基本機能	⑩グローバルアドレス端末の利用を可能とすること。	「グローバルアドレス端末」で利用したい機能等の記載がありません。 作業積算に必要となる為、「グローバルアドレス端末」の利用目的等の記載を願います。 例：本局職員がWeb管理コンソールを利用、等	—	職員端末が、外部(当局庁舎外)からグローバルアドレスで本システムを利用することを可能として下さい。
18	P8	4.1.5.バックアップシステム	(1) バックアップソフト	仕様記載内容から以下の表記が適切ではないかと考えます。 「(1)バックアップソフト機能」	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
19	P8	4.1.5.バックアップシステム	(2)バックアップ機能ソフト	仕様記載内容から以下の表記が適切ではないかと考えます。 「(2)バックアップ対象、保存先」	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
20	P8	4.1.5.バックアップシステム (2) バックアップ機能ソフト	③ 旭川のバックアップ対象は以下のシステムとする。 イ) WSUS サーバ#1	以下に修正願います。 イ) WSUS サーバ#2	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
21	P11	4.1.6. 仮想化システム (5) 既存VM 基盤の活用	「令和2 年度北海道開発局行政サーバ外一式の借入及び保守」にてVM 基盤の整備を行っている。仮想化システムの要件が満たせる場合、本調達における既存VM 基盤の活用も認められる。なお、本調達における新規VM コンポーネント基盤の構築を妨げるものではない。	「令和2 年度北海道開発局行政サーバ外一式の借入及び保守」の借入及び保守期間が先行して終了になると考えます。既存VM基盤を活用して本調達の各システムを構築した場合、元となるVM基盤借入終了後は、どのような扱いとなりますでしょうか。	—	元となるVM基盤借入終了後は、VM基盤の再借入または新規借入となります。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
22	P12	以下に記載するアカウント数については、記載した値の5%以内の変動については本調達の範囲内で対応すること。	5.1.2. 資産管理システム 対象クライアントは7,000とする。	本調達で購入するライセンスは、オプションライセンスのみと認識しております。 オプションライセンスは、本体のライセンス数と同数しか購入できません。 提供される本体ライセンスが5%変動の可能性があるため、オプションライセンスもそれに合わせる必要があるという認識でよろしいでしょうか。 その場合、確定したライセンス数で仕様記載いただく必要があると考えます。	行う	仕様書の修正を行います。
23	P12	6.1.1. システムバックアップ (1) 基本方針	① 本調達で導入されるサーバは、運用開始前にバックアップストレージにシステムバックアップを取得し、システム障害発生時には、このバックアップデータからシステム復旧を実施すること。 ② 日次及び週次でデータバックアップを取得し、バックアップストレージに保存すること。	①記載より、運用開始前のバックアップ取得は、システム障害発生時の復旧を目的としていることが読み取れます。 しかしながら、②の日次及び週次バックアップの取得・利用目的が明記されておられません。 手順書作成等に必要になる内容であるため、明記をお願いします。	行う	②については以下の内容で修正を行います。 「週1回のフルバックアップ 1日3回の差分バックアップ 世代管理は3世代」
24	P13	6.1.1. システムバックアップ (2) 本局のバックアップ	③ 当局の運用に合わせたバックアップスケジュールを設計し、構築すること。	「当局の運用」の内容に関する記載がありません。 内容を記載いただくか、 「③ バックアップスケジュールについては、監督職員と協議の上、設計し、構築すること。」に変更願います。	行う	23の内容を当局の運用とお考え下さい。
25	P13	6.1.1. システムバックアップ (3) 旭川開発建設部のバックアップ	③ 当局の運用に合わせたバックアップスケジュールを設計し、構築すること。	「当局の運用」の内容に関する記載がありません。 内容を記載いただくか、 「③ バックアップスケジュールについては、監督職員と協議の上、設計し、構築すること。」に変更願います。	行う	23の内容を当局の運用とお考え下さい。
26	P13	6.1.2. 無停電電源装置 運動機能 (1) 基本方針	① 無停電電源装置を設置する旭川開発建設部については、停電対策用に設置される無停電電源装置と運動し、停電検出時に装置のシャットダウンを実施すること。	記載の誤りと思われます。 「シャットダウン」に修正願います。	行う	誤記載のため修正を行います。
27	P13	6.1.2. 無停電電源装置 運動機能	② 本局は自家発電機が整備されているため、停電発生時は自家発電機から電源供給すること。停電から自家発電機が安定稼働するまでの時間の電源供給対策としての既設の無停電電源装置を利用すること。既設の無停電電源装置は15kVA、10kVA それぞれ2台とする。供給する電力に不足がある場合は必要な無停電電源装置を準備すること。設置にあたり附帯工事を行うこと。既設設備の詳細については契約後に提示する。	「既設の無停電電源装置は15kVA、10kVA それぞれ2台」について、供給する電力に不足があるかどうか判断できない為、空き容量の記載をお願いします。	—	仕様書の容量以内に収まれば問題ありません。
28	P14	6.2.1. システム監視 (1) 現行システム監視への接続	②本局と旭川の両方の監視サーバから接続を確認すること。 ③本局と旭川の両方の監視サーバから操作を確認すること。	現行監視システムで利用されている製品名を記載してください。 また、本調達においてライセンスの購入が必要となる場合は、購入数量の記載も合わせてお願いします。	行う	サーバ監視については「OPManager」を運用しています。仕様書別紙5-1、5-2のサーバを監視対象としてライセンスを計上して下さい。更新前の装置のライセンスを流用可能な場合は、流用して構いません。ネットワーク機器やアクセスポイントの監視はCiscoPI、CiscoDNAにより監視します。ライセンスは新規となります。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
29	P16	6.3.3.アンチウイルス管理システム (2)災害発生時の対応	③災害発生時の切替は自動か簡易な操作による半自動とするが、復旧後の切り戻し操作は簡易な操作での半自動か手動により実施可能として、切り戻し時の同期時間は10 時間以内を目処とすること。	「6.3.1. 端末管理システム」、「6.3.2. 資産管理システム」も同様に切り戻しの対象になるかと考えます。 「6.3.3.アンチウイルス管理システム」同様要件がある場合は記載願います。	行わない	「6.3.1. 端末管理システム」、「6.3.2. 資産管理システム」それぞれに「(2) 災害発生時の対応」を記載しております。
30	P17	7.1.2. 脆弱性対策	(3) 本調達で導入後に判明した脆弱性に対しても、本借入期間中継続してセキュリティパッチを速やかに適用すること。	本要件については、発生の頻度や回数、対応作業の工数の想定が難しいものになります。 「年間〇回程度を想定」等の記載をいただくか、「緊急性が低いものは、年2回の定期点検時に適用。ただし、緊急性が高いものはその都度協議の上、適用すること。」等に記載方法を検討いただけないでしょうか。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「緊急性が低いものは、年2回の定期点検時に適用。ただし、緊急性が高いものはその都度協議の上、適用すること。」
31	P19	8.3.据え付け・調整	(2) 設置する無停電源装置と既設分電盤間の電源ケーブル敷設は、受注者の負担で実施すること。	既存分電盤からの電源供給が可能で、分電盤自体の新設やそれに伴う配線工事は発生しないという認識でよろしいでしょうか。	行わない	認識のとおりですが、本調達により設置する無停電源装置と既設分電盤間の電源ケーブルの敷設は必要です。
32	P19	8.3.据え付け・調整	(3)無線LAN-APIは既設のLANケーブルに接続すること	作業に高所作業や取付工事が必要かどうか確認する為、取付位置を明記願います。 (例:天井取付工事が必要、既設ラック棚に設置の為不要、等)	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「(3)無線LAN-APIは既設のLANケーブルに接続すること 既設のLANケーブルは天井配線が基本である」
33	P19	8.4.1.共通事項	(3) 以下のOS及びアプリケーションについては、開発元との本借入期間を対象としたサポート契約を含むこと。 ①資産管理システムの条件を満たすアプリケーション ②エラーニング・アンケートシステムの条件を満たすアプリケーション	対象となるシステムを明記願います。 (3) 以下のOS及びアプリケーションについては、開発元との本借入期間を対象としたサポート契約を含むこと。 ①端末管理システムの条件を満たすアプリケーション ②エラーニング・アンケートシステムの条件を満たすアプリケーション ③バックアップシステムの条件を満たすアプリケーション ④仮想化システムの条件を満たすアプリケーション ※アンチウイルス、資産管理は本省提供の為、対象外と認識しています。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
34	P19	8.4.1.共通事項	—	パスワードの設計に関する記載が必要ではないかと考えます。以下の記述を追記願います。 (4)各種OS及びアプリケーションに使用するパスワードは、当局指定ルールに合わせ、受注者側で設計し発注者の承認を得ること。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「(4)各種OS及びアプリケーションに使用するパスワードは、当局指定ルールに合わせ、受注者側で設計し発注者の承認を得ること。」
35	P19	(1) 下記ドキュメントに基づきテストを実施すること。	③ システムテスト仕様書兼成績書	「BCPシステムテスト仕様書兼成績書」に変更願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
36	P21	10.1.1. 端末管理システム (1) 基本要件	本省第3期基盤システムとの連携と既存のActiveDirectory サーバのDNS 機能を考慮し、移行を行うこと。	「本省第3期基盤システムとの連携」に必要な対応内容の記載が無いため、対応に必要な作業工数の積算ができません。 対応内容の記載をお願いします。	—	「第3期国土交通省行政情報基盤システムに係るサービス提供」の調達情報が令和4年3月31日まで公開されていますので、内容確認をお願いします。
37	P21	10.1.1. 端末管理システム (2) 関連作業	本省第3期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業やグローバルアドレス対応、本調達に合わせて局内の他のアクティブディレクトリの変更が発生する場合には、当該部門からのQ/A 対応に対応すること。	「本省第3期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業」とは何か、追記願います。	—	外部集約収容L3.幹線L3.コアL3のルーティングテーブル(主にstatic)の設定変更作業になります。
38	P21	10.1.1. 端末管理システム (2) 関連作業	本省第3期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業やグローバルアドレス対応、本調達に合わせて局内の他のアクティブディレクトリの変更が発生する場合には、当該部門からのQ/A 対応に対応すること。	「本省第3期基盤システムとの連携に必要なグローバルアドレス対応」とは何か、追記願います。	—	「本省第3期基盤システムとの連携に必要なグローバルアドレス対応」についてですが、「本省第3期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業」、「グローバルアドレス対応」は分離されているものとして御理解願います。
39	P21	10.1.1. 端末管理システム (2) 関連作業	本省第3期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業やグローバルアドレス対応、本調達に合わせて局内の他のアクティブディレクトリの変更が発生する場合には、当該部門からのQ/A 対応に対応すること。	「局内の他のアクティブディレクトリの変更が発生する場合は、対象ドメインはいくつ存在するか、所有する部署名と合わせて追記願います。	—	本省ドメイン(mlit.go.jp)となります。
40	P21	10.1.2. 資産管理システム (1) 基本要件	①資産管理システムは必要に応じて現行システムとの併用期間を設け、行政端末へのインストール完了後、一斉に本調達の資産管理システムに切り替えること。	端末へのインストール作業は不要と認識しております。 記載内容の見直しをさせていただき、「インストールが必要ない場合は、切り替えのみを実施すること。」等を追記願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
41	P21	10.1.2. 資産管理システム (1) 基本要件	②行政端末には、一時的に現行の資産管理モジュールと、新規導入の資産管理モジュールが導入されるため、行政端末に悪影響が無いことを事前に十分に検証した上で展開すること。	端末へのインストール作業は不要と認識しております。 記載内容の見直しもしくは削除をお願いします。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
42	P21	10.1.2. 資産管理システム (1) 基本要件	③一斉切替後は、現行の資産管理モジュールのアンインストールを実施すること。	現行の資産管理モジュールのアンインストール作業は不要と認識しております。 記載内容の見直しもしくは削除をお願いします。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
43	P21	10.1.2.資産管理システム (2)関連作業	③ 本省第3 期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業やグローバルアドレス対応を行うこと。	「本省第3 期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業」とは何か、追記願います。	—	本省の管理サーバへの接続に必要な作業と御理解願います。
44	P21	10.1.2.資産管理システム (2)関連作業	③ 本省第3 期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業やグローバルアドレス対応を行うこと。	「本省第3 期基盤システムとの連携に必要なグローバルアドレス対応」とは何か、追記願います。	—	「本省第3 期基盤システムとの連携に必要なグローバルアドレス対応」についてですが、「本省第3 期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業」、「グローバルアドレス対応」は分離されているものとして御理解願います。
45	P21	10.1.3. アンチウィルス管理システム (2)関連作業	④ 本省第3 期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業やグローバルアドレス対応を行うこと。	「本省第3 期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業」とは何か、追記願います。	—	本省の管理サーバへの接続に必要な作業と御理解願います。
46	P21	10.1.3. アンチウィルス管理システム (2)関連作業	④ 本省第3 期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業やグローバルアドレス対応を行うこと。	「本省第3 期基盤システムとの連携に必要なグローバルアドレス対応」とは何か、追記願います。	—	「本省第3 期基盤システムとの連携に必要なグローバルアドレス対応」についてですが、「本省第3 期基盤システムとの連携に必要なネットワーク作業」、「グローバルアドレス対応」は分離されているものとして御理解願います。
47	P22	10.1.5.行政端末移行 (1)基本要件	②資産管理クライアントソフトのインストール	クライアントソフトのインストール作業は不要と認識しております。 記載内容の見直しもしくは削除をお願いします。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
48	P22	10.1.5.行政端末移行 (2)前提条件	①行政端末が設置されている現地にて、行政端末の設定を行うこと。	遠隔での作業も可能と認識しております。 以下の記述に変更願います。 ①行政端末の移行作業は本局からの遠隔による作業を前提とする。ただし、現地にて作業が必要となる場合は、別途監督職員と協議の上、現地作業を行うこと。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
49	P22	10.1.5.行政端末移行 (2)前提条件	②現地作業の事前説明、スケジュール調整を行うこと。	遠隔での作業も可能と認識しております。 以下の記述に変更願います。 ②現地にて作業が必要となる場合は、別途監督職員と協議の上、対象を限定した段階的な移行を考慮し、スケジュール調整、移行作業を行うこと。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
50	P22	10.1.5.行政端末移行 (3)アンチウィルスクライアントソフトの設定変更	①行政端末が設置されている現地にて、行政端末の設定を行うこと。	遠隔での作業も可能と認識しております。 以下の記述に変更願います。 ①行政端末の設定は遠隔作業等により行うこと。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「①行政端末の設定は遠隔または現地作業により行うこと。」
51	P22	10.1.5.行政端末移行 (3)アンチウィルスクライアントソフトの設定変更	②現地作業の事前説明、スケジュール調整を行うこと。	遠隔での作業も可能と認識しております。 以下の記述に変更願います。 ②現地に作業が必要となる場合は、別途監督職員と協議の上、対象を限定した段階的な移行を考慮し、スケジュール調整、移行作業を行うこと。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
52	P22	10.1.5.行政端末移行 (4)資産管理ソフトのインストール	①資産管理ソフトのクライアントソフトをインストールすること。	クライアントソフトのインストール作業は不要と認識しております。 記載内容の見直しもしくは削除をお願いします。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
53	P22	10.2.2.対象者別教育のための作成資料 (2)システム管理者	①端末管理システム ②資産管理システム ③アンチウィルス管理システム ④エラーニングシステム ⑤バックアップシステム	以下の記述を追記願います。 ⑥仮想化システム	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
54	P22	10.2.2.対象者別教育内容・作成資料 (3)拠点担当者(旭川開発建設部)	①端末管理システム ②資産管理システム ③アンチウィルス管理システム ④バックアップシステム	以下の記述を追記願います。 ⑤仮想化システム	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
55	P23	10.2.3.対象者別の教育内容 (2)システム管理者 ②	ア) 端末管理システム イ) 資産管理システム ウ) アンチウィルス管理システム エ) エラーニングシステム オ) バックアップシステム	以下の記述を追記願います。 カ) 仮想化システム	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
56	P23	10.2.3.対象者別の教育内容 (3)拠点担当者(旭川開発建設部) ②	ア) 端末管理システム イ) 資産管理システム ウ) アンチウィルス管理システム エ) バックアップシステム	以下の記述を追記願います。 カ) 仮想化システム	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。



NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
57	P23	10.3.1.設備諸元	(1)本局(各システムサーバ、周辺機器)	利用可能ユニット数、利用可能重量、利用可能電源容量について、本要件内容で問題ないか再度確認をお願いします。	行わない	確認済みです。
58	P24	10.3.1.設備諸元	(3)旭川開発建設部(各システムサーバ、周辺機器、無停電電源装置)	利用可能ユニット数、利用可能重量、利用可能電源容量について、本要件内容で問題ないか再度確認をお願いします。	行わない	確認済みです。
59	P25	11.1.ハードウェアに関する保守設備要件	(3) 障害対応は、障害発生時の連絡窓口を24時間365日体制として、迅速な対応を行うこと。なお、本局及び旭川開発建設部について、営業日(祝祭日除く月曜から金曜まで)の場合は通報から4時間以内に保守技術者が到着し初動対応を行うこと。	現地での初動対応による状態確認を経ずとも部品交換等の手配が可能となる場合がある為、以下の記述を追記願います。 「但し、担当職員の了解を得た場合はこの限りではない。」	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
60	P25	11.2.ソフトウェアに関する保守	OS やソフトウェアのバグ、脆弱性、及びバージョンアップ等の情報を速やかに監督職員へ報告するとともに、監督職員の指示に従い、受注者の責任と負担で各機器のソフトウェアのバグ修正、脆弱性対策、及びバージョンアップ等を行うこと。	対象となるシステムを明記願います。 例: 対象は本調達で購入したOSやソフトウェアの他、提供する資産管理システム、アンチウイルス管理システムを含む。 また、本要件については、発生の頻度や回数、対応作業の工数の想定が難しいものになります。 「年間〇回程度を想定」等の記載をいただくか、 「緊急性が低いものは、年2回の定期点検時に適用。ただし、緊急性が高いものはその都度協議の上、適用すること。」等、記載方法を検討いただけませんか。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「緊急性が低いものは、年2回の定期点検時に適用。ただし、緊急性が高いものはその都度協議の上、適用すること。」
61	P25	11.4.機能向上に関する相談及びアフターサービス体制	借入期間内において、以下のイベントが発生または計画されることを受けて、機器の設置・設定方法、対応機種、システム・アプリケーションの設定方法、対応ソフトウェア等について適切なアドバイスを行うこととし、その設定及び動作確認等の技術支援を行うものとする。	アドバイスや設定および動作確認等の技術支援を行った結果、実施するサーバ停止、設定変更、復旧等の作業は本調達の範囲外と考えます。 業務範囲を明確にするため、以下の記述を追記願います。 「但し、それにより発生するサーバ停止、設定変更、復旧等の作業は本調達の範囲外とする。」	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
62	P1	別紙2-1 成果物一覧 7システム管理者用マニュアル	⑨BCPシステム切替手順書	「⑨BCPシステム切替・切戻手順書」に変更願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
63	P1	別紙2-1 成果物一覧	30システム総合テスト仕様書兼成績書	9. テスト要件の記載に合わせ、「システム結合テスト仕様書兼成績書」に変更願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
64	P1	別紙2-1 成果物一覧	32 システム仕様書兼成績書	本資料No.36の記載に合わせ、「BCPシステムテスト仕様書兼成績書」に変更願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
65	P1	別紙2-1 成果物一覧	-	仕様書P24「10.3.2.設備要件の確認」(1)~(11)を成果物一覧に追記願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
66	P1	別紙2-1 成果物一覧	-	「別紙2-2 システム別作成資料一覧」にある「詳細設計書」を追記願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
67	P1	別紙2-2 システム別作成資料一覧 仮想化システム	移行方式設計書	仮想化システム自体の移行作業は発生しないと思われれます。 そのため「移行方式設計書」は不要と思われるので、「-」に変更願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
68	P1	別紙4-1 端末管理システム 機器数量表	仮想インフラサーバ#3~#6	以下の記述に変更願います。 仮想化サーバ#3~#6	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
69	P3	別紙5-2 ハードウェア要件 (物理サーバ、機器の要件)	⑬中継端末(本局、旭川、札幌、小樽、函館、室蘭、帯広、釧路、網走、留萌、稚内)	OSがWindows10Proの場合、動作が不安定となる恐れがあるため、他のサーバと同様に「Windows Server 2019 Standard Edition」への変更をご検討願います。 また、「6 ソフトウェア Microsoft Office」は不要と考えられますので、削除願います。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
70	P3	別紙5-2 ハードウェア要件 (物理サーバ、機器の要件)	⑮AP-A: 無線LANアクセスポイント ⑯PWR-INJ: パワーインジェクター	⑮AP-A: 無線LANアクセスポイントには、以下の記載があります。 21 電源部 802.3at標準のPoE給電にて動作すること PoE受電をしない場合は最大電力を満たすパワーインジェクターによる給電とすること  この要件は、今回導入する機器を選定する上で、いずれかの構成を選択可能であることを示す仕様であるという認識でよろしいでしょうか。 尚、当無線LAN-APの接続先となる対向のスイッチはすべての設置箇所において、PoE給電可能な機器という認識でよろしいでしょうか。 設置場所既存状況によって「PoE給電の場合」と「パワーインジェクタ利用が必要な場合」に分かれる場合は、場所およびそれぞれの数量を明記してください。	行う	設置場所既存状況によって「PoE給電の場合」と「パワーインジェクタ利用が必要な場合」に分かれます。 取り付け場所およびそれぞれの数量は仕様書に追記します。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
71	別紙6	端末管理システム ②ポリシー試行評価用 アクティブディレクトリ サーバ(本局)	3 アプリケーション ポリシー試行評価用機能を満たすアプリ ケーション	以下の記述に変更願います。 Microsoft Windows Server 2019 Active Directory ケーション	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
72	P1	資産管理システム ①マスターサーバ(本 局)	3 アプリケーション 資産管理システムの条件を満たすアプリ ケーション	以下の記述に変更願います。 SKYSEA Client View(導入版数は局支給品による)	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
73	別紙6	資産管理システム ②データサーバ(本局)	3 アプリケーション 資産管理システムの条件を満たすアプリ ケーション	以下の記述に変更願います。 SKYSEA Client View(導入版数は局支給品による)	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
74	別紙6	資産管理システム ⑤中継端末(本局、旭 川、札幌、小樽、函館、 室蘭、帯広、釧路、網 走、留萌、稚内)	2 アプリケーション 配信端末の機能を満たすアプリケーション	以下の記述に変更願います。 SKYSEA Client View(導入版数は局支給品による)	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
75	別紙6	アンチウイルス管理シ ステム ④Apex One(本局、旭 川)	2 データベース アプリケーション指定のデータベース	SQL Server Expressの場合、ログサイズが不足する 恐れがあります。 以下の記述に変更願います。 Microsoft SQL Server 2019 Standard Edition	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
76	P1	別紙7 納入機器シス テム全体図	—	図中の文字について、文字切れと思われる箇所が数 件見受けられる為、修正願います。	行う	確認の上修正を行います。
77	仕様書5 頁	4.1.1. 端末管理システ ム (1) 基本機能	② 既存アクティブディレクトリ環境を新規 仮想化システムに移行し、障害時 の切り戻しが可能な環境を保持すること。	新規に導入するバックアップサーバから切り戻しを行 う手段を確立することで、代替手段とできないでし ょうか。	—	実施困難と考えていますが、ユーザアカウント、DNS設定等含めて障害 時の切り戻しを迅速に(2時間程度)で実施可能であれば監督職員と協 議により代替手段として認めることは可能です。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
78	仕様書5頁	4.1.1. 端末管理システム (1) 基本機能	⑧ 本省第3期基盤システムで提供される認証基盤機能と連携を行い、内容を共有すること。	具体的な連携の内容について追記いただくことは可能でしょうか。	行う	本省のADに連携することとして修正を行います。
79	仕様書6頁	4.1.2. 資産管理システム (1) 基本機能	① 本省第3期基盤システムからライセンスを受け、資産管理システムを構築すること。保有するライセンスは「SKYSEA Client View Light Edition」である。	SKYSEA Client View Light Editionを動作させるためには、サーバ用ライセンスとクライアント用ライセンスが必要となります。SKYSEA Client View Light Editionのサーバ用・クライアント用の必要なライセンスが本省第3期基盤システムからライセンス提供される認識でよろしいでしょうか。	-	クライアント用ライセンスのみ当局より提供します。
80	仕様書6頁	4.1.2. 資産管理システム (1) 基本機能	② SKYSEA Client View のオプション機能として「リモート操作(インターネット経由)」「申請・承認ワークフローシステム」「不許可端末遮断」を必要とする。クライアント数は5,600とし、必要なライセンスは本調達に含むこと。	仕様書12頁 5.1. 規模・性能要件 5.1.2. 資産管理システム 対象クライアントは7,000とする。 上記記載のクライアント数と異なりますが、調達するライセンス数は5,600でよろしいでしょうか。 また、すべてのオプションについて調達するライセンス数は5,600でよろしいでしょうか。	行う	仕様書の修正を行います。
81	仕様書6頁	4.1.2. 資産管理システム (1) 基本機能	⑦ Microsoft 社の更新プログラム適用制御機能を提供するサーバとして Windows Server Update Services (WSUS) サーバを本局と旭川へ各1台構築すること。なお、物理ネットワークポートは2ポート以上実装し、行政系・防災系それぞれに接続を行うこと。	「物理ネットワークポートは2ポート以上実装し、行政系・防災系それぞれに接続を行うこと。」については必須要件でしょうか。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「Microsoft 社の更新プログラム適用制御機能を提供するサーバとして Windows Server Update Services (WSUS) サーバを本局と旭川へ各1台構築すること。なお、物理ネットワークポートは行政系に接続を行うこと。」
82	仕様書6頁	4.1.2. 資産管理システム (2) 導入・運用	③ 配布の負荷分散 本局及び各開発建設部に中継端末を設置し、コンテンツ配布における管理サーバおよびネットワークの負荷を分散可能とすること。中継端末の物理ネットワークポートは2ポート以上実装し、行政系・防災系それぞれに接続を行うこと。	「中継端末の物理ネットワークポートは2ポート以上実装し、行政系・防災系それぞれに接続を行うこと。」については必須要件でしょうか。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「中継端末の物理ネットワークポートは1ポート以上実装し、行政系に接続を行うこと。」
83	仕様書19頁	8. 情報システム稼働環境要件 8.3. 据え付け・調整	(3) 無線 LAN-AP は既設の LAN ケーブルに接続すること。	PoEスイッチ又はPoEインジェクターから無線 LAN-APの間のLANケーブルは、無線 LAN-APの据付までに、すでに敷設されているという認識でよろしいでしょうか。	-	よいです。
84	仕様書24頁	10.3. 設備要件 10.3.1. 設備諸元 (3) 旭川開発建設部(各システムサーバ、周辺機器、無停電源装置)	④ 利用可能電源容量 7,300W 程度以内	旭川開発建設部導入分の機器仕様から判断すると電源容量は最大7500W程度以内と想定されます。可能であれば「利用可能電源容量 7,500W 程度以内」として頂きますでしょうか。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
85	別紙5-2	⑬中継端末(本局、旭川、札幌、小樽、函館、室蘭、帯広、釧路、網走、留萌、稚内)	4項 OS Winsows 10 Pro(64bit)	ハードウェア仕様がサーバスペック程度のもを想定されていると思います。またハードディスクがRaid構成のため、OSはMicrosoft Windows Server 2019 Standard Editionが最適と考えます。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
86	別紙6	資産管理システム ⑮中継端末(本局、旭川、札幌、小樽、函館、室蘭、帯広、釧路、網走、留萌、稚内)	広、釧路、網走、留萌、稚内) 1項 OS Winsows 10 Pro(64bit)	ハードウェア仕様がサーバスペック程度のもを想定されていると思います。またハードディスクがRaid構成のため、OSはMicrosoft Windows Server 2019 Standard Editionが最適と考えます	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
87	1	3.1. 業務目的	本省第3期基盤システムとの連携	当該システムはどのようなものでしょうか。連携が必要となるサービス・機能・インターフェース仕様等についてご教授ください。また、ご提供いただけるのであれば、当該システムとの連携で必要となるサービスや機能、及び提供されるライセンスが記載されています仕様書をいただけますでしょうか。	—	「第3期国土交通省行政情報基盤システムに係るサービス提供」の調達情報が令和4年3月31日まで公開されていますので、内容確認をお願いします。
88	2	3.2.5. 機器の撤去(4)	データ抹消作業	抹消方法は物理破壊とソフトウェア消去のどちらでも問題ないでしょうか。	—	問題ありません。
89	3	3.4. 打合せ協議	Web 会議	貴局で使用するWeb会議に必要な機材はご準備いただけたらと考えてよろしいでしょうか。また、Microsoft TeamsでのWeb会議は可能でしょうか。	—	当局主催でのWeb会議を開催します。Microsoft Teamsも使用可能です。
90	5	4.1.1. 端末管理システム (1)基本機能 ②	既存アクティブディレクトリ環境を新規仮想化システムに移行	移行した環境は新システム稼働後も使用するものと考えてよろしいでしょうか。また、既存環境は物理と仮想のどちらになりますでしょうか。	—	既存環境は仮想化システムになります。
91	5	4.1.1. 端末管理システム (1)基本機能 ④、⑧	必要な Windows Server 2019 ユーザCALは本省第3期基盤システムからライセンス提供を受ける 本省第3期基盤システムで提供される認証基盤機能と連携を行い、内容を共有する	本省第3期基盤システムとの具体的なライセンス提供方法や認証基盤との連携方式をご教示ください。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「必要な Windows Server 2019 ユーザCAL は当局からライセンスを提供します」

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
92	5	4.1.1. 端末管理システム (1) 基本機能 ⑨	グローバルアドレス端末の利用を可能とすること	グローバルアドレス端末はどのようなもので、端末管理システム等の基本機能としてどのような利用を想定すればよろしいでしょうか。	—	職員端末が、外部(当局庁舎外)からグローバルアドレスで本システムを利用することを可能として下さい。
93	5	4.1.1. 端末管理システム (2) ポリシー試行評価機能 ④	評価用クライアントPC 環境を構築	評価用クライアントPCは本調達の範囲外と考えてよいでしょうか。	—	御認識のとおり
94	6	4.1.2. 資産管理システム (1) 基本機能 ①	本省第3期基盤システムからライセンス提供を受け、資産管理システムを構築すること。	本省第3期基盤システムからの具体的なライセンス提供方法をご教示ください。	行う	仕様書の修正を行います。 当局から提供するユーザーライセンスを使用し資産管理システムを構築すること。サーバーライセンスは本調達に含むこと。
95	6	4.1.2. 資産管理システム (1) 基本機能 ⑦	行政系・防災系それぞれに接続を行うこと	行政系・防災系の双方が記載されていますネットワーク構成図が概要図を提供して頂けませんでしょうか。別紙4 システム全体構成概要図では行政系に関する記載がなく、防災系への接続イメージが不明でした。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「本局及び各開発建設部に中継端末を設置し、コンテンツ配布における管理サーバおよびネットワークの負荷を分散可能とすること。中継端末の物理ネットワークポートは1ポート以上実装し、行政系に接続を行うこと。」
96	6	4.1.3. アンチウイルス管理システム (1) 基本機能 ①	本省第3期基盤システムからライセンス提供を受け、アンチウイルス管理システムを構築すること。	本省第3期基盤システムからの具体的なライセンス提供方法をご教示ください。	行う	下記のとおり仕様書の修正を行います。 「①ライセンスは当局より提供するものを利用し、アンチウイルス管理システムを構築すること。」
97	7	4.1.4. E ラーニング・アンケートシステム (2) 機能 ⑤	コンテンツ製作者が、画面からコンテンツのアップロードが可能であること	登録するコンテンツの想定量をご教示ください。	—	1ファイル20ページ程度、ファイルサイズは10MB程度ととして下さい。
98	7	4.1.4. E ラーニング・アンケートシステム (4) その他 ②	既存データの取り込みが可能なこと	取込方式を検討するため、既存データのフォーマットをご教示ください。	—	PDF.pptxとなります。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
99	11	4.1.6. 仮想化システム (5) 既存 VM 基盤の活用	仮想化システムの要件が満たせる場合、本調達における既存 VM 基盤の活用も認める。	既存VM基盤の活用可否を検討するため、既存VM基盤の仕様と余力リソースをご教授ください。	—	会計課にて閲覧可能としますのでお問い合わせ下さい。
100	13	6.1.2. 無停電電源装置 連動機能 (1) 基本方針 ②	既設の無停電電源装置	型番または仕様の詳細をご教授ください。新設の可否(または追加の部材が必要か)を判断するために型番と仕様の情報を提供頂きたいです。	—	会計課にて閲覧可能としますのでお問い合わせ下さい。
101	13	6.1.2. 無停電電源装置 連動機能 (1) 基本方針 ②	設置にあたり附帯工事を行うこと。既設設備の詳細については契約後に提示する。	距離や配管の有無等附帯工事の条件を確認するため、建物図面または設置の条件を教えてくださいませんか	行わない	契約後に提示します。
102	14	6.2.1. システム監視 (1) 現行システム監視 への接続	監視サーバから操作を確認すること	既存監視サーバでの接続及び操作確認の作業は受注者にて行うものでしょうか。	—	受注者にて行います。
103	19	8.2. ネットワーク構成	全てのネットワーク変更を実施することとし、対象機器は以下とする	既存ネットワークの変更対象が不明なので、既存L3スイッチ、既存ルータ、既存ファイアウォールの機種及び台数をご教授ください。	—	機種名は会計課で閲覧可能としますのでお問い合わせ下さい。数量は以下のとおりです。 L3 48 ルータ 4 FW 2
104	19	8.3. 据え付け・調整 (1)	既設のEIA 規格の19 インチラック	ラックの型名をご教授ください。 EIA規格ではラック搭載可否判断に必要なラック内部の寸法が定義されておらず、場合によっては搭載不可であったり、追加で部品が必要になるケースが御座います。	—	会計課にて閲覧可能としますのでお問い合わせ下さい。
105	19	8.3. 据え付け・調整 (2)	設置する無停電電源装置と 既設分電盤間の電源ケーブル敷設	据え付け・配線方法を検討するため、距離や経路の配管状態をご教授ください。 また、建物図面を開示願います。	—	建物図面は契約後に提示します。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
106	19	8.3. 据え付け・調整 (3)	無線 LAN-AP は既設の LAN ケーブルに接続すること	取り付け場所をご教授ください。また、建物図面を開示願います。 LANケーブルでの電源供給(PoE)はないものと考えてよいでしょうか。 無線サーベイは実施しなくても問題ございませんでしょうか。	行う	取り付け場所は仕様書に追記します。 建物図面は契約後に提示します。 場所によりLANケーブルでの電源供給(PoE)があります。 無線サーベイは実施しなくても問題ありません。
107	21	10.1 移行に関わる要件	システム全体の移行の整合性、当局の運用を考慮し、必要な作業を実施すること	旧システムの操作は受注者が実施するのでしょうか。 また、旧システムの運用ベンダが会議に参加したり、旧システムの設計書を借用することは可能でしょうか。	—	契約後の協議事項になります。 既存システムの成果品は契約後に提供可能です。
108	21	10.1.4. E ラーニング・アンケートシステム (1) 基本要件	—	既存コンテンツの移行は調達の範囲外と考えてよいでしょうか。	—	よいです。
109	22	10.1.5. 行政端末移行 (2) 前提条件 ①	行政端末が設置されている現地にて、行政端末の設定を行うこと。	現地作業の作業量を検討するため、行政端末が設置されている拠点と拠点毎の台数をご教授ください。	行う	行政端末が設置されている拠点は「別紙1-1 拠点一覧」になります。 拠点毎の台数は仕様書に追記します。
110	22	10.1.5. 行政端末移行 (2) 前提条件 ④	PC 管理サーバ上に構築する進捗管理機能にて作業進捗状況を確認可能なこと。	進捗管理機能は本業務の対象外で、ご用意いただいたものに進捗情報を連携する想定でよろしいでしょうか？	—	当局が用意する進捗管理機能を使用し情報の共有を行います。
111	24	10.3.2. 設備要件の確認	受注後速やかに各設備の現地確認を行い、設備条件の詳細を確認すること。	現地確認の対象拠点をご教授ください。	行う	取り付け場所は仕様書に追記します。
112	—	別紙5-2 ハードウェア要件 (物理サーバ、機器の要件)	⑤共有ストレージ(本局、旭川) ⑦バックアップストレージ(本局) ⑧バックアップストレージ(旭川)	FC接続は不可でしょうか。	—	ネットワークフローの可視化が必要なため、FC接続では困難と考えます。



NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
113	仕様書 11頁	(5) 既存VM 基盤の活用	「令和2 年度北海道開発局行政サーバ外一式の借入及び保守」にてVM 基盤の整備を行っている。 仮想化システムの要件が満たせる場合、本調達における既存VM 基盤の活用も認める。 なお、本調達における新規VM コンポーネント基盤の構築を妨げるものではない。	既存VM基盤を活用した後、その基盤が本案件より先に借入期間を過ぎた場合、借入延長費用は本案件に含まれるのでしょうか。	—	含まれません。
114	5	4.1.1.端末管理システム (2)ポリシー試行評価機能	②検討評価用の構築に必要なソフトウェアライセンスは本調達にて調達すること。	本番環境用クライアントライセンスは「本省第3期基盤システムからライセンス提供を受けること」となっているが、検討評価用については調達が必要かどうか。またその場合に必要なライセンス数。	—	不要です。
115	5	4.1.1.端末管理システム (2)ポリシー試行評価機能	③検討評価環境はポリシーの評価環境として使用するため、検討評価環境の設計ドキュメント、各種手順書を作成し提出すること。	「設計ドキュメント」については、詳細設計書(パラメータシート)の想定だが、問題ないか。 また、「各種手順書」については、システム管理者向けシステム利用手順書の想定だが、問題ないか。	—	問題ありません。
116	5	4.1.1.端末管理システム (2)ポリシー試行評価機能	④検討評価環境は、本番環境とは別のドメインとした評価用アクティブディレクトリサーバと評価用クライアントPC環境を構築し、評価用環境単体でソフトウェアの試行評価を可能とすること。	「評価用クライアントPC」は貸与されるのか。本調達で調達が必要な場合はその仕様及び台数。	—	「評価用クライアントPC」は貸与します。
117	5	4.1.1.端末管理システム (2)ポリシー試行評価機能		仕様を満たし、導入を想定しているソフトウェア名とエディション。	行わない	ソフトウェアの指定は行いません。仕様を満たしたソフトウェアを選定してください。
118	5	4.1.1.端末管理システム (3)ID管理機能		仕様を満たし、導入を想定しているソフトウェア名とエディション。	行わない	ソフトウェアの指定は行いません。仕様を満たしたソフトウェアを選定してください。
119	7	4.1.4. E ラーニング・アンケートシステム (1)パッケージライセンス		仕様を満たし、導入を想定しているソフトウェア名とエディション。	行わない	ソフトウェアの指定は行いません。仕様を満たしたソフトウェアを選定してください。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
120	8	4.1.5. バックアップシステム (2) バックアップ機能ソフト	①本局のバックアップ対象は以下のシステムとする。	誤:エ) 資産管理マスターサーバ#1,#2 正:エ) 資産管理マスターサーバ#1,#2	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
121	8	4.1.5. バックアップシステム (2) バックアップ機能ソフト	③旭川のバックアップ対象は以下のシステムとする。	誤:イ) WSUS サーバ#1 ウ) Trend Micro Smart Protection サーバ#1 正:イ) WSUS サーバ#2 ウ) Trend Micro Smart Protection サーバ#2	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
122	12	6.1.1. システムバックアップ (2) 本局のバックアップ	②バックアップ対象サーバ(仮想化ゲストサーバ)は、以下とする。	4.1.5. バックアップシステム (2) バックアップ機能ソフト ①本局のバックアップ対象は以下のシステムとする。以下に同内容の記載があり、冗長である。かつ各サーバを別表記で記載しており、誤解の元になると考える。	行う	ご指摘のとおり 4.1.5. バックアップシステム の表記とあわせる修正を行います。
123	13	6.1.1. システムバックアップ (3) 旭川開発建設部のバックアップ	②バックアップ対象サーバ(仮想化ゲストサーバ)は、以下とする。	4.1.5. バックアップシステム (2) バックアップ機能ソフト ③旭川開発建設部のバックアップ 以下に同内容の記載があり、冗長である。かつ各サーバを別表記で記載しており、誤解の元になると考える。	行う	ご指摘のとおり 4.1.5. バックアップシステム の表記とあわせる修正を行います。
124	13	6.1.2. 無停電電源装置 連動機能 (1) 基本方針	①無停電電源装置を設置する旭川開発建設部については、停電対策用に設置される無停電電源装置と連動し、停電検出時に装置のシャットダウンを実施すること。	誤1:無停電電源装置を設置する旭川開発建設部については、 正1:旭川開発建設部については、 誤2:装置のシャットダウンを実施すること。 正2:装置のシャットダウンを実施すること。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
125	13	6.1.2. 無停電電源装置 連動機能 (1) 基本方針	②本局は自家発電機が整備されているため、停電発生時は自家発電機から電源供給すること。停電から自家発電機が安定稼働するまでの時間の電源供給対策としての既設の無停電電源装置を利用すること。	誤:停電から自家発電機が安定稼働するまでの時間の電源供給対策としての既設の無停電電源装置を利用すること。 正:停電から自家発電機が安定稼働するまでの時間の電源供給対策として、既設の無停電電源装置を利用すること。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
126	14	6.2.1. システム監視 (1)現行システム監視への接続	③本局と旭川の両方の監視サーバから操作を確認すること。	「操作を確認」の具体的な内容。既存OpManagerに今回調達の対象装置を監視対象として登録するが、他に必要な作業があるのか。	—	一般的なSNMP設定を予定しています

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
127	14	6.2.1. システム監視 (3)ネットワーク機器の運用監視	下記の機器は SNMP エージェントを起動し、既存監視ソフトウェア監視下とすること。 ④無線 LAN-AP(本局、各開発建設部)	「④無線 LAN-AP(本局、各開発建設部)」については、OpManagerではなく、R3行政NW更新と同様にCisco PIまたはDNACで監視登録を行う前提で良いか。	—	よいです。
128	14	6.2. 運用性要件		本調達サーバ(物理/仮想)について、既存ログ管理システム(EventLog Analyzer)への登録及びログ取得は必要か。 その場合、EventLog Analyzerの追加ライセンスが必要だが、本調達に含むか。	—	既存ログ管理システム(EventLog Analyzer)への登録及びログ取得は必要です。追加ライセンスも本調達に含みます。
129	15	6.3.2. 資産管理システム (1)基本方針	①マスターサーバは本局に2台配置する。BCP切替ソフトウェアの機能により旭川側で起動し、運用を継続すること。	誤: BCP切替ソフトウェアの機能により旭川側で起動し、運用を継続すること。 正: 災害発生時にはBCP切替ソフトウェアの機能により旭川側で起動し、運用を継続すること。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
130	16	6.3.3. アンチウイルス管理システム (2)災害発生時の対応	②スマートスキャンサーバは対処を行うことなく残存するサーバで運用を継続して良いと。	誤: 残存するサーバで運用を継続して良いと。 正: 残存するサーバで運用を継続すること。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
131	17	7.1.1. ウィルス対策	②資産管理システム ア) マスターサーバ(本局)2台 イ) データサーバ(本局)2台 ウ) 申請承認ワークフローサーバ(本局)1台 エ) WSUSサーバ(本局)1台 オ) マスターサーバ(旭川)2台 カ) データサーバ(旭川)2台 キ) WSUSサーバ(旭川)1台 ク) 中継端末(本局、各開発建設部)11台	下記は調達対象ではないため対象外で良いか。 オ) マスターサーバ(旭川)2台 カ) データサーバ(旭川)2台	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
132	17	7.1.1. ウィルス対策	③アンチウイルス管理システム ア) Apex Central サーバ(本局)1台 イ) Apex Central データベースサーバ(本局)1台 ウ) スマートスキャンサーバ(本局)1台 エ) Apex One サーバ(本局)1台 オ) スマートスキャンサーバ(旭川)1台 カ) Apex One サーバ(旭川)1台	下記は調達対象ではないため対象外で良いか。 カ) Apex One サーバ(旭川)1台	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
133	17	7.1.2. 脆弱性対策	(1)本調達で導入されるサーバ(仮想化サーバ上で動作するゲストサーバ含む)は、全てウィルス対策を実施すること。	正: 本調達で導入されるサーバ(仮想化サーバ上で動作するゲストサーバ含む)は、全てOSおよびアプリケーションの最新の脆弱性対策を実施すること。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
134	19	8.2. ネットワーク構成	本調達において発生する全てのネットワーク変更を実施することとし、対象機器は以下とする。	新設無線APに接続するPC用のDHCPリースIPのセグメント設計及び、既存DHCPサーバへの設定追加も対象か。	—	対象です。
135	24	10.3.1. 設備諸元	本調達において受注者が利用する設備は以下の通りである。	誤：本調達において受注者が利用する設備は以下の通りである。 正：本調達において受注者が利用する設備は以下の通りである。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
136	24	10.3.1. 設備諸元	本調達において受注者が利用する設備は以下の通りである。：(4)本局、札幌、函館、小樽、旭川、室蘭、帯広、釧路、網走、留萌、稚内開 発建設部 中継端末として以下の設置スペース等を準備すること。	誤：中継端末として以下の設置スペース等を準備すること。 正：中継端末として以下の設置スペース等を満たす調達機器を準備すること。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
137		別紙2-1 成果物一覧	30 システム総合テスト仕様書兼成績書 システム総合テスト結果を記載すること。	誤：システム総合テスト 正：システム結合テスト ※19頁「9. テスト要件(1)②」に記載あり	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
138		別紙2-1 成果物一覧	32 システム仕様書兼成績書	誤：システム仕様書兼成績書 正：システムテスト仕様書兼成績書	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
139		別紙2-1 成果物一覧	7 システム管理者用マニュアル ⑧周辺機器利用手順書	「周辺機器」とは何か。	—	下記機器になります。 仕様書P1 3.1.2 調達内容 (7)ネットワーク機器(各種L2スイッチ及び無線LAN-AP) (8)その他機器(表示装置及び切替機、中継端末および無停電源装置)
140		別紙2-1 成果物一覧	23 監視方式設計書 24 監視運用設計書	本調達で監視方式や監視運用の変更は無く、納品は必要ないと考えます。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
141		別紙2-1 成果物一覧	28 システム運用手順書 各種システム運用手順書を作成すること。 詳細は「別紙2-2 システム別作成資料一覧」を参照	「7 システム管理者用マニュアル」が同内容のドキュメントのため、納品は必要ないと考えます。	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
142		別紙5-2 ハードウェア要件(物理サーバ、機器の要件)	⑥バックサーバ(本局、旭川)	誤:⑥バックサーバ(本局、旭川) 正:⑥バックアップサーバ(本局、旭川)	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
143		別紙5-2 ハードウェア要件(物理サーバ、機器の要件)	⑤共有ストレージ(本局、旭川) ⑦バックアップストレージ(本局) ⑧バックアップストレージ(旭川)	ハードディスクの要求仕様 誤:実行容量 正:実効容量	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
144		別紙6 ソフトウェア要件	アンチウィルス管理システム ④Apex One(本局、旭川)	誤:④Apex One(本局、旭川) 正:④Apex One(本局)	行う	ご提案のとおり仕様書の修正を行います。
145	仕様書 P1	3.2. 業務概要 3.2.1. 作業内容	④ エラーニング・アンケートシステム	導入作業についてリモート接続し構築することは可能でしょうか。	—	不可能なものとしてお考え下さい。
146	仕様書 P5	4.1. 業務機能要件 (3) ID管理機能	② 人事異動CSVファイルから以下を一括変更可能とする。 ア) 職員(臨時職員、非常勤職員等を含む)の追加削除が	エラーニングシステム所定フォーマットでの人事異動CSVファイルを作成頂けるといことでよろしいでしょうか。	—	人事異動CSVファイルは当局フォーマットとします。エラーニングシステムの所定フォーマットとの整合は契約後の確認事項とします。
147	仕様書 P5	4.1. 業務機能要件 (3) ID管理機能	④ 変更時のログが出力されること。	ログの形式をご提示いただけますでしょうか。	—	syslogに対応していること。

NO	仕様書頁	条項	仕様書案の記載内容	提案・意見及び疑問点	仕様書への反映	対応理由
148	仕様書 P7	4.1. 業務機能要件 4.1.4. Eラーニング・アンケートシステム	(1) パッケージライセンス ③ オーサリングツールはライセンスフリーであること。	オーサリングツールは外部へのライセンス料が発生するため、ライセンスフリーではなく端末台数による数量限定もしくはコンテンツ変換用共有端末を用意いただけませんか。 オーサリングツールは外部へのライセンス料が発生するため、ライセンスフリーではなく端末台数による数量限定もしくはコンテンツ変換用共有端末を用意いただけませんか。	行わない	当局が必要とする仕様のため、仕様の変更はいたしません。
149	仕様書 P7	4.1. 業務機能要件 4.1.4. Eラーニング・アンケートシステム	(2) 機能 記載なし	記載のない動画の利用はないと考えてよろしいでしょうか。	—	よいです。
150	仕様書 P7	4.1. 業務機能要件 4.1.4. Eラーニング・アンケートシステム	(3) マスタ管理 ② ログインIDの変更を行えること。ただし、受講履歴の引き継ぎが可能であること。	どのような場合にログインIDが変更となるのかご教授いただけますでしょうか。	—	人事異動(転入・転出・退職・新規採用)およびメールアドレス変更により変更の場合がある。
151	仕様書 P7	4.1. 業務機能要件 4.1.4. Eラーニング・アンケートシステム	(3) マスタ管理 ④ 組織体系とは異なる仮想グループでの管理が可能であること。	仮想グループとはどのようなグループなのかご教授いただけますでしょうか。	—	管理者により抽出したユーザーのグループとする。
152	仕様書 P21	10. 移行要件 10.1.4. Eラーニング・アンケートシステム	(1) 基本要件 ① Eラーニングシステムは、職員情報(所属部署・役職・職位ID等)の事前登録を行うこと。 ② アンケートシステムは、職員情報(所属部署・役職・職位ID等)の事前登録を行うこと。	現行システムでの学習履歴、学習コンテンツは含まれないと考えてよろしいでしょうか。	—	よいです。
153		記載なし	記載なし	利用者のクライアント環境の情報を教えてくださいませんか。(PC環境:OS、ブラウザ)	—	OS:Windows10 ブラウザ:Edge、FireFox